

日時 平成28年4月25日(月) 16:30～

場所 県庁新館8階 職員研修室

1 地震の状況

別添資料のとおり。後程気象台から

2 被害の状況

死者48名 関連死13名。計61名。

行方不明者2名変更なし

※高野台地区で16時2分に1名の御遺体を発見、身元確認中

重症者、軽傷者は分類未確定も含め、1,383人以上

住家被害：全壊、半壊、一部損壊 1万棟を超える被害

避難者数等は資料のとおり。避難所数561箇所 避難者数約5万人。熊本市3万人弱。

3 県等の対応状況

(総務部)

他県からの人的支援多数

(企画振興部)

鉄道：九州新幹線 脱線車両の撤去完了

航空機：熊本空港52便運航予定

日本財団からの緊急支援：明日14時から日本財団と熊本県で合意書の締結予定

(健康福祉部)

仮設住宅への対応：みなし仮設住宅について、本日から不動産関係団体に無料相談窓口を開設

空き住居の情報提供を開始し、4月28日から申込書の配布開始

ボランティアセンター：10か所10市町村

児童相談所：3箇所で被災後の相談を受け付け

義援金約13億7千万円

(環境生活部)

水道：山都町 配水管の補修完了 断水解消

小川町 完全な断水は二戸に減少

廃棄物：宇城広域連合 クリーンセンター 一機停止していたが、復旧

仮設トイレ：県、熊本市で増加

熊本市の災害ごみの撤去：日曜実績1658トン

(商工観光労働部)

中小企業への支援：特別相談会の実施

融資枠の拡充 資金繰りの支援  
廃業をさせないための支援についても考えていく

(農林水産部)

水産業関係：田崎卸売市場は、25日から競りを再開  
金融支援窓口：県の団体支援課に設置  
県漁連から焼き海苔の提供

(土木部)

九電とNTTに電柱の本数を確認した。道路への影響を知りたいので、本数だけでなく位置の場所についても情報提供をお願いする

(教育庁)

今月中には県立学校については応急危険度判定を終える  
県立学校関係の避難所については資料参照

(県警本部)

高野台団地：身元の確認を進める  
立野：ヘリでの捜索と国土交通省からの地上からの捜索を継続中  
交通整理：主要道路で実施中

(緊急消防援助隊)

立野地区：上空からヘリで捜索

(自衛隊)

給水：昨日より210トン減少  
給食：約8,000食減少  
給水、給食の減少に伴い、部隊の再編成を考える

4 国等の対応状況

(国土交通省)

応急仮設の整備：8名の応援人員も加え調査を図っている  
応急危険度判定：10市町村中、益城町、菊陽町で当初予定分を昨日までに完了  
立野土砂撤去：熊本側、大分側より進めている

(海上保安庁)

巡視船による、入浴給水支援は減ってきている

(気象台)

余震に警戒。27日から28日にかけて強いところでは一時間に約30mmの雨

(西部ガス)

体制：4641名  
普及状況：12時現在35704戸  
カセットコンロの配布総計：約1万5千台

(LPガス協会)

危険なボンベの回収：益城町 約600個

5 現地対策本部長の発言

(酒井政務官)

今、内閣府からアイパッドの話があった。物資の関係で一元化するという意味で試行的にやるが、これが各市町村に整えて動けば、きちんとした体制が整うと思うので、私の方からもご協力をよろしくお願ひしたい。

ごみの関係で、逐次努力いただきながら、難しい面もあるが、引き続きご尽力願ひたい。

文科省には、状況をきちんと把握していただきたい。26日から開校するという所もあるので、その辺も含めてどういう状況か、避難所になっている所もあるので、しっかりと把握して頂きたい。

もう一つは、国交省にお願いしたけれども、ゴールデンウィークに入る。石井大臣から、九州横断道が開通するという発言があった。すると、被災者の皆さんのところにお身内の方、知り合いの方がどうしても一度行きたいという方がいらっしゃると思う。ボランティアの皆さんもそうだろうし、そうすると、渋滞を起こす可能性もあると思う。対応をお願いしたい。

官邸の方で、対策本部の会議があった。その時の総理のコメントを申し上げる。「必ず未だ連絡がとれない方々を見つけ出す。その強い決意が、一昨日、南阿蘇で捜索にあたっている各隊員から伝わってきた。大変頼もしくも感じた。被災地では、依然地震が続く、天候も不安定だが、各部隊は引き続き二次災害に注意を払いながら、捜索活動に力を尽くして頂きたいと思う。

本日、今般の地震を激甚災害と指定することを閣議決定した。これにより、道路や河川等の公共土木施設、農地や学校等の復旧事業に対する財政支援の特例措置が講じられる。一日も早く復旧が進み、さらに被災地の産業の復興が実現するよう補正予算の編成など、財政面での支援により全面的にバックアップして参りたい。

被災地には、全国各地から延べ約6,000人のボランティアの方々が駆け付けてくれている。物資の仕分け、運搬や被災家屋の片づけ、介護支援などそれぞれの特長を生かして被災された方々を支えてくれている。心から感謝を申し上げたいと思う。

被災された方々に避難所や自動車から、安心な住まいへ一日も早く移っていただくことが急務。被災家屋の被害認定、罹災証明書の交付等に最優先で取り組まなければならない。その手続きを加速するため、国の職員を速やかに投入すると同時に全国の自治体に対して、こうした業務に精通した職員の追加派遣を要請する。マンパワーを総動員し、出来るだけ迅速に交付されるよう全面的に支援して参りたい。

同時に仮設住宅の建設も先手先手で進めていかなければならない。被災自治体の作業を支援するため、今日から東日本大震災後の建設作業を経験した職員を被災地に派遣した。公営住宅の受付や用地の選定は既に始まっているが、建設の一日も早い着工に向けて、被災自治体と一体となって取組みを加速頂きたいと思う。

発災から10日、インフラの復旧も進み、九州新幹線も間もなく全面復旧する。被災地は精神的にも肉体的にも困難な状況に置かれている。省庁の枠にとらわれることなく、一致団結してやれることは全て直ちに実行して下さい、という総理からのコメントだった。

私から皆さんにお願いしたいのは、現場を知っているのはここです、本当のことを知

っているのは。そして、本当に現場に行ってもらっしやる皆さんが、一番よく知ってもらっしやる。そのことを、的確に情報を集めて、それを、県は国に伝えていただくようご努力をお願いしたい。それが、一日も早い被災者の助けになると思っている。

## 6 県災害対策本部長の発言

(蒲島知事)

新たに災害関連死の方が1名増え、今回の地震でお亡くなりになられた方は、61名となった。謹んでご冥福をお祈りいたします。

連日、懸命な捜索が続いておりますが、依然としてお2名の方の所在がわからないまま。そして、たった今入った情報だが、先ほど、高野台において、お一人の方が発見された。一刻も早い救助を心から願っている。

また、本日夕方から明日にかけて、所によりまとまった雨が降る可能性があるようだ。余震の続く中、土砂災害には十分警戒いただくようお願いしたい。

避難所生活の長期化に伴い、エコノミークラス症候群やノロウイルスの発生など、健康面、衛生面、さらには、心のやすらぎなどのメンタル面のケアが重要となっている。避難所生活でのニーズは、時間の経過や天候などにより、刻一刻と変化する。今現場で何が必要なのか、被災者の方々の立場になって考え、現場と本部の連携を密にしながら、生活支援に精一杯努めていただきたいと思います。

本日午前中に、「平成28年熊本地震」を激甚災害に指定する閣議決定がなされた。発災当初から早期指定を訴えていた私の思いを、速やかに受け止めていただき、非常に心強く、またありがたく思っている。この決定により、国庫補助の嵩上げ措置などが取られるので、これらの制度を最大限に活用し、復旧・復興を力強く進めてまいりたいと思う。

皆さん現地での捜索活動や、被災者の方の治療やケア、支援物資の調達・配送などで、相当お疲れのことと思うが、一日も早い復旧・復興を目指して、お互いに励まし合い、「チームくまもと」として一緒に頑張っていきましょう。

(以 上)